
シュライン-ワルツ 《shrine-waltz》

紫衣 玲

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

シュライン・ワルツ《shrine-waltz》

【Nコード】

N8332Y

【作者名】

紫衣 玲

【あらすじ】

この小説はAmebaブログからの転載です。

高校1年生の輝栄・悠きえい・ゆうはある日シュラインという能力を持つ少女、
暉阜・祠宇てるおか・しゅうと出会う。実は悠は彼女と以前にも会っていたことがあり……

?: 否鳴 < expose the lie of the world > ?

どうも紫衣・玲というものです。きちんとした体裁で小説を書くのは初めてですがよろしく願います。どこまでうまく書けたかわかりませんが…この作品は、一応ライトノベルです。つまりラノベのお決まりは一応起きます。そういう展開は嫌だ!という方は前書き中に切ってもらっていいです。

悠以外にも誰もいなかったのだから。

「え…なんで…？」

彼の心を違和感は確実に蝕んでいった。なぜ自分が写っているのか、なぜ今さっきまで板人々は消えたのか…

違和感…

違和感…

違和感違和感違和感違和感違和感…

違和感違和感違和感違和感違和感違和感違和感…

違和感違和感違和感違和感違和感違和感違和感違和感違和感違和感…

違和感違和感違和感違和感違和感違和感違和感違和感違和感違和感…

違和感違和感違和感違和感違和感違和感違和感…

違和感は恐怖に変わっていく。異様なものをすぐに受け入れられるほど人間はタフではない。

コワイ…

怖い…

コワイ怖い怖い…

コワイ怖い怖いコワイ怖い怖いコワイ怖い怖いコワイ怖い怖いコワイ怖い怖いコワイ怖い怖い…

彼の目は揺れる、彼の足は震える、彼は止められない。

そして悠は我に返る。今は悲鳴のした方に行かないと…そう思った。そうしたらこの現実離れた馬鹿げたことから逃げられるだろうから…そんな気もしていた。そして彼は悲鳴のした方へ向かう。まだ、悲鳴がしてからはそう時間が立っていない。誰かが致命傷を負っている。それでもまだ助けられるかも…そうやって今、体験したことを記憶の隅に押しやっていった。

「はあはあ」

しかしいくら走っても、あの強烈な情景は目に焼き付き、消えない。しかし今は悲鳴がした方へ向かう。なぜか足が止まらないのだ。まるで引きこまれているかのように。そして意識は薄れていく。まるで誰かに操られているかのように…

? : 否 鳴 < e x p o s e t h e l i e o f t h e w o r l d > ?

どうだったでしょうか？あらずじに出たた祠宇って子は！？ていうかシュラインって何！？そう思っている方、もう少しお待ちください。あとこの作品あの作品のパクリじゃね？ということがあったら、言ってください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8332y/>

シュライン-ワルツ 《shrine-waltz》

2011年11月24日21時19分発行